



令和5(2023)年4月

「高田小学校」が誕生します

令和5年4月、江浦小学校、開小学校、二川小学校、岩田小学校が統合して「高田小学校」が誕生します。学校施設は、現在の二川小学校を改築、改修して整備します。
8月に公募した校名案には、延べ451人から164件もの応募をいただき、ありがとうございます。
応募された校名について、4校統合協議会で協議、選定が行われ、10月に教育委員会へ校名案が答申されました。
答申を受け、教育委員会では応募された皆さんの想いや統合協議会のご意見を尊重しつつ、地域の特性や学校の将来像、子どもたちの成長への期待を込めて「高田小学校」とすることに決定しました。



▲4校統合協議会から教育委員会へ答申

校名に込められた想い

地名である「高田」を校名とすることで、地域の象徴としての意味と、これまで4校が刻んできた長い歴史や伝統を後世に引き継いでいきたいという想いが表われています。

今回の統合小学校づくりの基本方針は「地域で学び、地域を愛し、地域に元気を与え、未来に羽ばたく小学校」です。保護者や教職員、地域の皆さんとともに寄り添い、力を合わせて子どもたちの成長を見守ることで、「高田小学校」が将来にわたって子どもたちの生きる力を培う学び舎になるようにとの願いが込められています。



料理屋「ソノサキ」店主

野口 友和さん

以前は建設会社に勤めていた野口さん。学生時代、料亭でアルバイトをしていた際に感じた「料理ができるってかっこいい」という気持ちが忘れられず一念発起。沖縄県とみやま市内で修行を積み、独立した。ソノサキは、来年1月で開店して丸3年を迎える。
何ものにも代え難い喜び
野口さんは、もともと「人を楽しませたい、喜ばせたい」という性格だという。「自分が作った料理で笑顔になってくれる人を見ると、やっぱり自分にはこの仕事だなと実感します。お客さんが飲んで食べて、楽しんでくれる空間を作れることが嬉しいです」

お客さんへの感謝の気持ちいっぱいに語ってくれた。
コロナ禍で支えてくれたのは
お店が徐々に軌道に乗ってきた中で見舞われたコロナ禍。先が見えない不安の中での営業に悩んでいた野口さんを支えてくれたのはお客さんだった。

「コロナ禍でも、お客さんが感染対策をとりながら来店してくれたり、「大変やろうけど頑張らんね」と声をかけてくれたり、その応援が本当に力になりました。支えてくれた人たちの笑顔をまた見たいという気持ちで、乗り切ることができました」
営業していく中で芽生えた想い
「思い出が詰まった地元のみやま市で営業していく中で、支えてくれたお客さんや友人のためにも食を通してみやま市に貢献したいという気持ちが強くなりました。」
お店とともに成長して、みやま市に貢献したいと話す野口さん。これからも目の前のことに真摯に向き合うことで「ソノサキ」の目標へまい進していく。



のぐち ともかず
趣味はサッカーと読書。
瀬高町上庄
【座右の銘】
来る者拒まず、去る者追ひ越せ
【みやまにひとこと】
山、川、海が近くにあり自然あふれるみやま市が好きです。

12月4日～10日は人権週間 みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～

社会教育課 人権・同和教育係 (Tel32-9184)

現

在、新型コロナウイルスの感染者数が減少しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症に起因する偏見や差別が発生しています。
人権週間をきっかけに、自分を振り返ってみませんか。



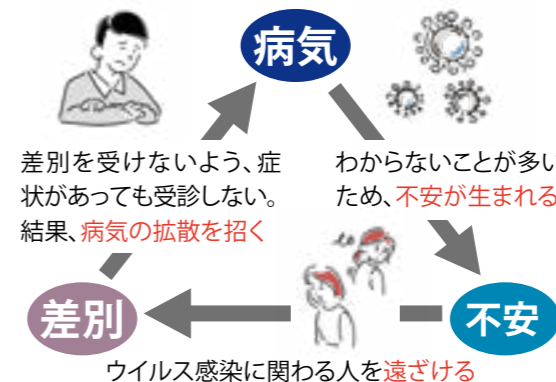
ハンセン病問題に学ぶ 偏見や差別

ハンセン病は、非常に感染力が弱く、現代の日常生活において感染・発病することはほとんどありません。もし感染しても薬で治る病気です。
しかし、1996年に「らい予防法」が廃止されるまでの約90年間、全てのハンセン病患者を強制的に収容する隔離政策がとられました。

ハンセン病は恐ろしい病気だという誤った認識が広がり、患者は家族を含めて地域社会から偏見や差別などの深刻な人権侵害を受けました。
今もなお、ハンセン病に関する偏見や差別は解消されていません。

負のスパイラル

ハンセン病以外にも、エイズ患者やHIV感染者など、特定の病気や患者に対する偏見や差別があります。コロナ禍の今、感染症と偏見・差別の関係について、私たちが陥りやすい負のスパイラルを見てみましょう。



誰もが差別する側・される側になる恐れがあります。気付かないうちに、何気ないひとことで相手を傷つけているかもしれません。
同じ過ちを繰り返さないために、**人権尊重の意識を高め、正しい知識に基づいた行動で感染拡大を防ぎ、差別をなくしましょう。**

みやま文芸

高田町句会

鯛雲夕日眩しき一処

板橋 寿

重力に踏んばってをり大朱燦

岩屋 清美

質問をしてあるやうな百舌の声

紙田 幻草

冬日差し御斎の煮しめなつかしく

猿渡 洋子

若君も姫様もゐる菊人形

西山ワカ子

枯枝に声かはしつつつがい鳥

野田 憲二

木犀のかをり天女の密語とも

野田岳比古

観音へ金木犀の香を纏ひ

松尾 光恵



※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。